

セレクト[®]乳剤

■種類名：クレトジム乳剤
 ■有効成分：クレトジム-----24.0%
 ■PRTR法指定物質：ナフタレン[第1種]-----6.8%
 1,2,4-トリメチルベンゼン[第1種]-----1.2%

■登録番号：第22577号(アリスライサイエンス登録)
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 ■登録初年：2010.02.03
 ■性状：黄赤色澄明可乳化油状液体
 ■有効年限：3年
 ■包装：100ml×60本
 500ml×20本(北海道のみ)
 2ℓ×8本(北海道のみ)
 ■危険物：第二石油類(水溶性)危険等級Ⅲ、
 火気厳禁

【特長】

- 除草がむずかしいスズメノカタビラを含むイヌビエ・メヒシバなどイネ科雑草に卓効を示す茎葉処理除草剤。
- 作用機作は脂肪酸の生合成阻害作用による。
- イネ科植物と非イネ科植物との間にきわめて高い選択性があるので広葉作物に安心して使用できる。

【適用内容】(2015年10月28日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	10a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地域	クレトジムを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
あずき	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫45日前まで	35~50ml	100ℓ	1回	雑草茎葉散布	全域	1回
	スズメノカタビラ		50~75ml					
いんげんまめ	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫60日前まで	35~50ml					
	スズメノカタビラ		50~75ml					
だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫50日前まで	35~50ml					
	スズメノカタビラ	雑草生育期(イネ科雑草5~8葉期) 収穫50日前まで	50~75ml					
		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫50日前まで						
えだまめ	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫14日前まで	35~50ml					
	スズメノカタビラ	雑草生育期(イネ科雑草5~8葉期) 収穫14日前まで	50~75ml					
		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫14日前まで						
てんさい	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草5~8葉期) 収穫30日前まで	35~50ml					
	シハムギ、レットトップ、スズメノカタビラ	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫30日前まで	50~75ml					
かんしょ	一年生イネ科雑草	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫100日前まで		50~75ml	1回	1回		
キャベツ、ねぎ、だいこん、かぼちゃ、ばれいしょ		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫30日前まで						
たまねぎ		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫21日前まで						
にんじん		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫40日前まで						
にんにく		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫30日前まで						
アスパラガス		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫前日まで						
ひまわり(種子)		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫30日前まで						
かのこそう		雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) 収穫45日前まで	75ml				1回	1回

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布液の調製に当たっては、使用の直前に本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから使用すること。
- イネ科雑草優占の圃場で使用すること。広葉雑草およびカヤツリグサ科雑草などが混在する場合は、これらの雑草に有効な除草剤との体系で使用すること。
- 展着剤を加用するとより一層効果的である。
- イネ科雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、時期を逸しないように均一に散布すること。
- やや遅効性であり、イネ科雑草を完全に枯殺するまでに通常1週間から2週間前後を要するが、スズメノカタビラに対してはさらに期間を要する場合があるので、誤ってまき直しなどしないように注意すること。
- イネ科作物には薬害をおこすおそれがあるので、周囲にイネ科作物がある場合は、薬剤が飛散しないように注意すること。
- 激しい降雨の予想される場合は使用を避けること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。
- ❖ 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気を避け、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。